

12/3～9は障害者週間 コロナ禍でも障害のある方に思いやりを

新型コロナウイルスの感染予防のため、人との間隔の確保やマスクの着用が欠かせない生活になりました。しかし、その予防策が、障害のある方の生活の不安につながる場合があります。ここでは、特に配慮が必要な3つのケースを紹介します。

▶問合せ：障害者施策推進課管理係 ☎5984-4598 FAX 5984-1215

視覚障害

不安

お店のレジなどに並ぶとき、人と間隔をとるためのテープの位置が分からない



思いやり

困っている方を見かけたら、声掛けをしましょう

聴覚障害

不安

マスクによって、口の動きが読み取れずコミュニケーションが難しい



思いやり

身振りや筆談なども交えてコミュニケーションをとりましょう

知的障害

不安

マスクを着けていられず、周囲から注意される



思いやり

障害の特性上、マスクを着けられない方がいることにご理解を

皆さまの配慮が障害のある方の不安解消につながります